

感動一点の場

『二人』
1982年 小川原 脩 画



中華人民共和国チベット自治区の中心都市ラサは、標高4,200 ㍎の位置にあるチベット仏教の聖地です。信者たちは高く清らかな浄土と呼ばれるラサへ、荒野を歩き山を越え、礼拝を続けながらやってきます。小川原脩がチベットを訪れたのは70歳の時でした。ラサでは中心街にあるジョカン寺の門前で「五体投地礼」を繰り返す信者や、寺の外を取り囲む巡礼路を時計回りに祈りながら歩く信者たちに出会いました。

この作品は巡礼者をモチーフに描いたラサの街角の情景です。画面の上に暗い色が塗られているのは建物の陰でしょうか。人物の下には石段のようなものが描いてあり、街の一角を感じさせる構図になっています。

二人はようやくたどり着いたラサの路上に腰を下ろし、寄り添ってお互いをいたわっているようです。目鼻はばかしてありますが、慈愛に満ちた優しい表情をしているに違いありません。左右にはゆっくり歩く犬とアヒルが描かれています。小川原は動物をモチーフにして二人を包むやさしい空間と、ゆったりした時間の流れを表現したかったのではないのでしょうか。

文：金澤 逸子（小川原脩記念美術館 学芸スタッフ）

ふるさと探訪

俱知安の記念碑 - 中村興三松記念碑

497回

1986（昭和61）年11月に廃線になった胆振線（俱知安―伊達紋別間）は、1919（大正8）年に脇方鉾山（褐鉄鉾床：現京極町）に開通した鉾石運搬専用軌道「京極軽便線」に端を発します。

この鉾山鉄道の延伸に多大なる貢献をしたのが、俱知安町六郷市街の豪商・中村興三松でした。彼は、商売柄関わりの深かった喜茂別方面の住民からの強い要望に応え、その身と私財を投じて、1928（昭和3）年、胆振鉄道（京極―喜茂別間）の鉄道敷設の夢を果たしました。胆振鉄道はその後、胆振縦貫鉄道、胆振線へと名と姿を変えていきました。

「六郷鉄道記念公園（北4東8）」は、胆振線廃線後、胆振線六郷駅跡に建設された公園です。園内には、胆振線開通の功績をたたえ、中村興三松記念碑が建てられています。碑に刻まれている一節は次のとおりです。

「京極、喜茂別方面を商圈とし人望の厚かった中村興三松氏は大正十五年 衆望を担って私鉄胆振縦貫鉄道株式会社を設立、私財を投げうって鉄道の敷設、会社の運営に奔走、昭和三年十月、京極―喜茂別間一〇・八 ㌔の鉄道敷設を成し遂げた」

六郷地域が最も栄えていたとされる大正から昭和初期の詳細な地図が当館に残されていないのは残念ではありますが、彼の商店で使用された徳利は、今も風土館に保管されています。ぜひ、ご覧ください。

文：小田桐 亮（俱知安風土館 学芸員）



中村興三松記念碑
（建立1988年7月1日）



雑穀商「中村興三松商店」
の貸し徳利（風土館所蔵）

展覧会のお知らせ

■第1展示室

開館25周年記念小川原脩展「遥かなるイマージュ」

会期：開催中～9月23日（月・振休）

■第2展示室

しりべしミュージアムロード共同展「紙にまつわるものがたり」

小川原脩記念美術館テーマ「画稿 紙から、はじめよう。」

小川原脩、木田金次郎、西村計雄の作品を展示します。

会期：開催中～9月23日（月・振休）

アート・イベントのお知らせ

■土曜サロン

おとなの手しごと（29）「鳥絵作家と鳥のブローチを作ろう」

町内在住の作家・武井ゆみこさんと石粉ねんどを使って作った鳥に色を塗ってかわいいブローチを作ります。

日時：9月14日(土)14時～16時 会場：ロビー（無料）

講師：武井ゆみこさん（鳥絵作家）

定員：10名※要予約、高校生以上、親子可

予約受付：電話申込（☎21－4141）

世界美術館紀行

フランス・パリにあるオルセー美術館に収蔵されているルノワール、モネの作品を鑑賞します。

日時：9月21日(土)14時～14時40分

会場：映像ルーム（無料）※予約不要

お相手：金澤逸子（学芸スタッフ）

俱知安風土館のお知らせ

■転車台クリーニング大作戦！（2年目）

日時：9月21日(土)10時～12時（終了次第解散）

集合：くとさんパーク内転車台前 定員：なし※予約不要

持ち物：軍手、帽子、飲み物、手ぐわ、スコップなど

■寺子屋ミュージアム「除虫菊から虫よけグッズを作ろう！」

蚊取り線香は、俱知安でも栽培された除虫菊から作られています。蚊取り線香を作りながら、除虫菊と町の歴史を学びます。

日時：9月23日（月・祝）13時30分～16時30分

集合：俱知安風土館駐車場 定員：10名※要予約

講師：紺谷貴之（風土館学芸補助） 参加費：100円（材料費）

予約受付：9月16日（月・祝）までに電話申込（☎22－6631）

■KODOMO湿地交流「くっちゃん子×自然戦隊マガレンジャー」（宿泊事業）

行こう、くっちゃん子！美唄市宮島沼に遠征して、宮島沼を拠点に活動している「自然戦隊マガレンジャー」と、それぞれの町の自然の魅力について学び、交流しましょう。

日時：9月28日(土)9時～29日(日)18時 行先：宮島沼水鳥湿地センター（美唄市）

集合：俱知安風土館 定員：10名※要予約、町内在住の小学5年生～高校3年生 参加費：千円

持ち物：着替え、寝袋など 予約受付：9月16日（月・祝）までに電話申込（☎22－6631）

ミュージアム通信

小川原脩記念美術館 ☎21-4141

観覧料：一般 500円（400円）

高校生 300円（200円）

小中学生 100円（50円）

俱知安風土館 ☎22-6631

観覧料：一般 200円（100円）

高校生以下、美術館観覧者無料

開館時間は9時～17時

入館は16時30分まで

※（ ）内は10名以上の団体料金

9月の休館日 毎週火曜日、展示替えのため

美術館のみ25日(木)～10月4日(金)

風土館のみ30日(月)

画廊な茶廊

今年の春に「カフェギャラリーデビュー」して以来、あれこれ行きたい場所を思案していたのですが、タイミングが合わず早数カ月…。

そんな折、たまたま新聞で紹介されていた展覧会に惹かれまして、その開催場所がこれまた行ってみたかった札幌の「茶廊法邑」さんということで、早速お邪魔してきました。

展覧会は画家・三神恵爾さんの個展。

写真や印刷物を用いたコラージュという

技法による戦争や世界の終末を思わ

せるシリアスな連作のほか、多種多様

な作品の数々に感嘆。一方、開催場所

の法邑さんは大都市の住宅街にあると

は思えないほど巧みに緑を取り込んで

いました。独立したギャリースペー

スのほか、カフェスペースの壁にもぐ

るりと作品が展示され、その下はほぼ

全面がガラス張りといったモダンなつ

くり。素敵な画廊に巡り合えました。

館長 福原秀和



▲詳細は町HPへ